

■■■■ 平成22年度第8回（2月）One Coin 地域力 カフェ ■■■■

スペシャルバージョン「やまがた地域力共創【論・楽（落）・会】」

・・・成熟社会のいまだからこそ、私たちの新たな生き方・働き方を考えてみよう！！・・・

<テーマ設定の発端>

昨年後半あたりから最近の社会状況で気になっていたことを23年の賀状に次のように記載。

- ・成長戦略という呪縛からフリーになれる為政者はいないものだろうか・・・
- ・非効率の再評価で仕事を生み出すことができるのでは・・・

【論】<成長戦略の呪縛からフリーになるために・・・【ローカルスタンダード】の可能性を語る車座会議 >

・・・車座会議の素材（キーワード例）・・・

<非効率の再評価>

<減速生活者（ダウンシフターズ）>

<幸せの尺度（価値観の変容）>

<行政の試み（秋田スペック）>

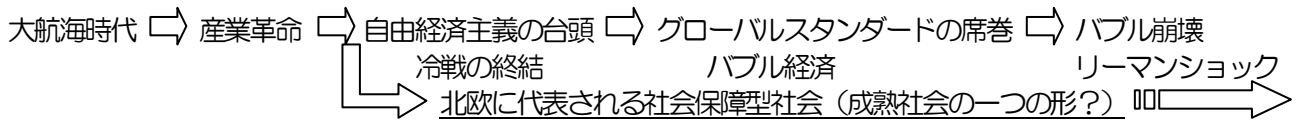
<各種シェアリングの取組み（ワーク・ルーム・カー・・・）>

<地産地消・在来食物の発掘>

<ダウンサイジング>

1. 成熟社会のパラダイム（枠組み）シフト（学識的検証無しの超個人的考察）>

(1) 歴史・文化・経済的背景

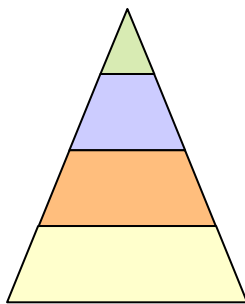


(2) グローバルスタンダード（GS）下の主なパラダイム（枠組み）の一例

<価値観>



<階層構造>



産	官	学
グローバル企業	国	大学
大手企業	都道府県	高校・専門学校
中小企業	市町村	中・小学校
零細企業&人材派遣業	地域公民館 (コミュニティ)	幼稚園・保育園



枠組みの変化の「要素」： ☆ 平成20年度行政向け職員研修資料

別紙

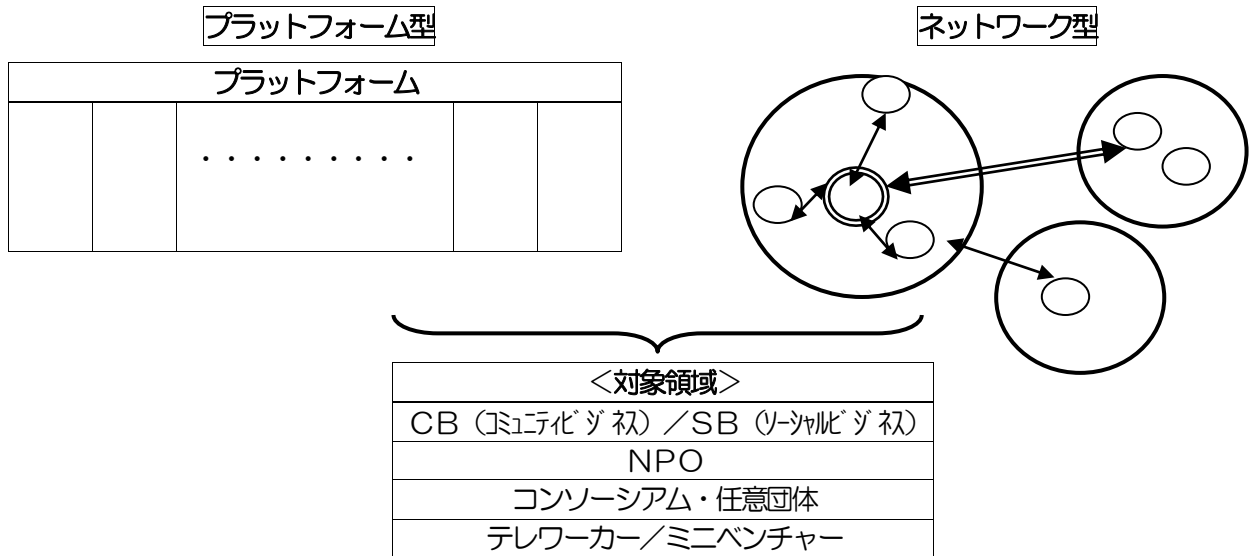
★ 豊かさ・幸せ度(価値観)の変化・経済至上主義の限界への気付き

★ 経済(利益)・富の多様化 ⇒ 選択枝: 自由時間・生き方・働き方・住まい方・・・



(3) ローカルスタンダード (LS) 下のパラダイム (枠組み) の一例

① 自立分散型志向



求められるもの：コア・リソース (核となる三資源)

- ハード (インフラ・設備・システム)
- ソフト (ハードの運用・活用のプロセジャー&しくみ)
- ひと (利用者：消費者&ハード・ソフトの運用者)

②: 別紙参照

(4) 非効率の再評価

グローバルスタンダード (GS) 下では産業界の経済活動はもとより価値観を進める方法の一つである「効率化」に疑問が出されることは少なかった (マイナーであった)。

それを「非効率の再評価」と呼んでみた。

最近眼にする次のような小さな「試み」の積み重ねが「ローカルスタンダード (LS) 下のパラダイム (枠組み)」の広がりに効果が有るのでは・・・。

<減速生活者 (ダウンシフターズ) >

<行政の試み (秋田スペック) : 狭義のLSの例? >

コスト縮減や環境保全など、時代の要請にきめ細かく応えるため、公共工事の計画から実施段階にわたって「地域に適合するものづくり」に視点を当て、施設の規模や構造を定める仕様 (スペック) の統一・標準的な基準に限定されない**県独自の計画・設計仕様 (ローカルスタンダード)**を導入して工事の適用に努めること。

<各種シェアリングの取組み (ワーク・ルーム・カー・・・) >

<地産地消・在来食物の発掘>

<昔の仕事の伝承例>

- ・馬搬：山林で伐採した木材を鉄板の上に載せてワイヤーで固定、ロープにつないで引張る馬を手綱で先導する仕事
- ・トラック&トラクター等の機械化 (道路造成・拡張) ⇒ **山林破壊&仕事が無くなる** ⇒ 再評価&補助金
- ・同じような例：昔のちり紙交換 (小規模に町内を廻る仕事) ⇒ 大手企業の参入・大量処理で殆ど消えてしまった
- ・回顧、ノスタルジーとは違った意味の不便さも捨てたものではないはず。
- ・「効率の追求」と「不便さ」の関係を対立構造ではなく共存する捉え方が必要ではないか? ⇒ 仕事が生み出されるかも・・・。